



中部電力パワーグリッド

中電P G報知事項5
2024年9月12日



CHUBU
Electric Power

メッセン吊りDV線がしいし金具の 一部使用中止について（お知らせ）

中部電力パワーグリッド(株)

01 概要

【概要】

メッセン吊りDV線がいし金具（小）（以下、「メッセン金具」という。）のボルトを工具にて締め付けを実施してもメッセン22mm²（2.0mm／7本より線）に固定できない事象（以下、「本事象」という。）が発生したため、本事象が発生するメッセン金具の取扱いについてお知らせいたします。

【対象品】

製造期間が「2024年3月21日～2024年5月31日」の期間に組立製造されたものの内、本事象が発生するメッセン金具※¹が対象。なお、対象品の製造期間については、納入時の梱包箱上面を確認するか、梱包箱が無い場合には、本体刻印の「U 2 3 ※²（2023年製）」・「U 2 4（2024年製）」で判断。

※¹ 本事象は製造における公差が原因のため、メッセン金具全数に発生する事象ではございません。

※² 本体製造時期と組立工程時期が同一時期ではないため、本体刻印「U 2 3」も一部対象となります。

| 本体刻印 | | 梱包箱 |
|---|--|---|
| 2024年製造 | 2023年製造 | 2024年3月21日～2024年5月31日 |
|  |  |  |

02 本事象の調査結果

【調査結果】

メッセン金具のJボルト曲げ加工の寸法公差によって、Jボルトの曲げ加工がマイナス公差であった場合に、ボルト締めきり前に金具同士が干渉しあうことで本事象が発生することを確認しております。

- 2024年製造品と他の年次製造品を比較すると、2024年製造品の当該メッセン金具本体とJボルトの隙間が大きいことを確認。【図1】
- 事業場にて再現性を確認した結果、本事象の再現性を確認。【動画1】



図1

紙面のため動画省略

動画1

03 対応方法

【対応方法】

本事象は、外観では良否判定ができないことから、対象の製造期間品が有る場合については、優先して使用するとともに、メッセン金具をメッセン22m²に適用する工事において、ボルトを工具で締め付けする作業工程で対象品判定を実施願います。

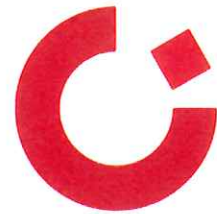
対象品判定方法について、メッセン22m²に固定可能な場合は現地施設可能です。**本事象が発生した場合においては、当該金具の使用を中止し、他のメッセン金具に取り替えし施工をお願いいたします。**

【対象品の扱い】

本事象が発生したメッセン金具については、今後メーカー交換の対象品となるため、各職場にて保管お願いいたします。

【その他】

対象品の保管後の扱いについては別途お知らせいたします。なお、対象品が現場に施設された場合の影響評価については、今後、経年等による設備影響を評価予定のため、検証結果に応じて取替要否を検討いたします。



中部電力パワーグリッド